

平成 22 年度 事業報告

平成 23 年 5 月
(社)横浜市幼稚園協会

平成 22 年度重要施策の推進について

横浜市の幼稚園は、すべて私学であり各園は建学の精神に法り、「すべては子どもたちの明日のために」日々研鑽を積み重ね、健やかな成長を願う保護者などの要請に応えてまいりました。

これからも幼稚園は、私たちの未来を託する子どもたちのために、一番大切な幼児期の教育を更に充実させ、地域社会から求められている「子育ての支援拠点」としての役割も認識してまいります。

さて、諸制度が変革され移り変わりが激しい今日、新しい時代の中で子どもたちの生活環境もめまぐるしく変化を受けておりますので、生きるために必要な「生きる力」を育てていかなければならないと考えています。そのために幼稚園は、あらゆる機会を捉え市民が求める子育て支援の中心的な施設として、幼稚園教育の理念を据えてまいります。

平成 23 年度事業は、ほぼ計画どおり実施しその成果を収めることが出来たと考えています。特に子育て教育相談、子育てについての情報発信、子育て拠点としての「子育て支援」、預かり保育の実施をとおして両立支援などの諸事業を推進することができました。更に協会創立 50 周年記念として市長をはじめ多くの参加者のもと式典が挙行できたことは大変有意義でありました。

これからも子どもたちのために一番大切なことを見失うことなく常に「幼稚園教育の質的向上」を訴え続けたいと思います。

また、この度の東日本大震災に際して、私たちは今何をしなければならないのか、同時に何ができるのかを考え、行動に移していくことが求められています。次年度に向けて防災意識の啓発に鋭意努めてまいります。

しかしながら、幼保小連携、子ども子育て新システムへの対応、幼稚園における預かり保育事業の充実、公益法人化などへの対応など課題は少なくありません。

次に平成 22 年度実施した事業について項目ごとに報告します。

記

1. 各園の建学の精神を踏まえ、幼児教育の重要性に立ち設置者・園長、教員の資質の向上及び保育内容の充実を図るため講演会、研修会・研究会を開催した。

また、地域に根ざした研修の推進を、支部研究活動をとおして強力的に実施した。中でも、家庭教育の重要性について、子どもの心と体の発達を正しく理解し、豊かな家庭教育をすすめるため、父母対象の研修活動を行った。行政が行う研修にも積極的に参加した。

2. 私立幼稚園の重要性と実情について、市民の認識をより高めるため広報活動を活発に行い、特にインターネットを活用しホームページなどをとおして情報提供に努めた。

3. 子育て支援事業について更なる充実を図るため研究活動を充実させた。
4. 行政・横浜市会との連絡を密にして、私立幼稚園の公共性を踏まえ、更なる幼児教育の前進に向けて、父母の会連合会と連携して行動を展開した。
5. 幼稚園と保育所との格差是正のため公費助成の増額などの予算要望をすすめた。
6. 市民の共通理解のもと秩序ある園児募集ができるよう努めた。
7. 横浜市の行う諸事業に積極的に協力した。
8. 幼児教育の充実と発展に資するため、次代を担う人材育成に努めた。
9. 個人立・宗教法人立対策については、神奈川県私立幼稚園連合会振興部と連携し神奈川県に対して学校法人との格差是正のため公費助成の増額などを強力にすすめた。
また、横浜市に対して公費助成の増額や保護者負担の軽減などの予算要望をすすめた。
10. 設置者・園長及び教職員を国内へ派遣し、幼児教育についての視察研修を行った。
11. 協会創立50周年記念大会事業を行った。
12. 社団法人新法への対応について、「社団法人申請対策特別検討委員会」を引き続き開催した。
13. 緊急課題については、特別委員会を設け対処した。

．事業の状況

次のとおり、事業を執行した。

1. 研究会及び学術講演会等の開催（定款第5条1号）

(1)幼稚園大会の開催（総務部）

年月日 平成22年6月16日（水）

テーマ 「ふれあい 支えあう社会を創ろう 子どもの笑顔のために」

会場 横浜文化体育館

参加者 保護者 817名 教職員 2,415名

(2)園長・設置者研修会の開催(研修事業部)

第1回 平成22年5月12日（水）

テ - マ 幼稚園の未来像を探る

～ 足立区の公私も含めた幼保の動向や認定こども園の実践を踏まえて～

講師 前足立区立おおやた幼保園園長

足立区教育委員会教育改革推進課行動計画担当係長 赤坂 榮
会 場 かながわようちえん会館会議室 参加者 59 名

第 2 回 平成 23 年 2 月 16 日 (水)

テーマ 子ども・子育て新システムの動きの中で、改めて幼稚園の重要性を考える
～今、そしてこれからも、幼児教育が担うべき役割とは何か～

講 師 文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官 湯川 秀樹

会 場 かながわようちえん会館会議室 参加者 74 名

(3) 支部研究部長会の開催 (研修事業部)

第 1 回 平成 22 年 6 月 8 日 参加支部 16 支部

第 2 回 平成 22 年 10 月 6 日 参加支部 16 支部

第 3 回 平成 23 年 3 月 11 日・25 日 参加支部 9 支部

(4) カウンセリング研究講座の開催 (研修事業部)

免許更新講習対象 選択領域 (第 1 回・2 回・3 回)(講習の名称: 保育現場での質を高める)

講 師 鶴見大学短期大学部保育科・洗足こども短期大学幼児教育保育科 非常勤講師 久米真浩
臨床心理士 鈴木 由美子

会 場 かながわようちえん会館会議室

第 1 回 平成 22 年 6 月 25 日 (金) 参加者 78 名 (免許状更新者 34 名含む)

(俯瞰図番号 F2- F3-)

テーマ 「保育者って大変ですよ」保護者との関わりを中心に・・・

第 2 回 平成 22 年 9 月 3 日 (金) 参加者 86 名 (免許状更新者 34 名含む)

(俯瞰図番号 F1- F2-)

テーマ 「保育参観? 保育参加?」～保護者とのコミュニケーションを考える～

第 3 回 平成 22 年 11 月 16 日 (火) 参加者 78 名 (免許状更新者 34 名含む)

(俯瞰図番号 E5- F4-)

テーマ 「カウンセリングマインドと保育現場の交差点」

～あなたならどうしますか?～

第 4 回 平成 23 年 2 月 1 日 (火) 参加者 39 名 (一般参加者のみ)(俯瞰図番号 F1- F2-)

テーマ 「伝える」～わかってほしい、子どものために～

(5) 保育力キャリアアップ研究講座の開催 (研修事業部)

免許更新講習対象 必修領域 (全日程 第 1 回～第 6 回)

(講習の名称: 幼稚園をめぐる教育の最新事情)

講 師 (第 1 回～第 3 回) 元富士見幼稚園主任 兵頭 恵子

(第 4 回～第 6 回) 玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授 大豆生田 啓友

会 場 かながわようちえん会館会議室

第 1 回 平成 22 年 6 月 3 日 (木) 参加者 54 名 (免許状更新講習者 12 名含む)

テーマ 「子どもの見方捉え方～子ども観と保育観～」(C3 - E5-)

- 第2回 平成22年 7月 1日(木) 参加者 56名(免許状更新者12名含む)
 テーマ「子どもの発達と理解」(C1 - ・D3 -)
- 第3回 平成22年 9月 2日(木) 参加者 55名(免許状更新者12名含む)
 テーマ「保育者間の協力体制」(D1 - ・E4 -)
- 第4回 平成22年10月25日(月)参加者 52名(免許状更新者12名含む)
 テーマ「協同的な学びについて考える」(C3 - ・E4 -)
- 第5回 平成22年11月15日(月)参加者 45名(免許状更新者12名含む)
 テーマ「気になる子の理解とその保育」(D3 - ・D3 -)
- 第6回 平成22年12月 6日(月)参加者 47名(免許状更新者12名含む)
 テーマ「保護者との連携・支援について考える」(F2 - ・F2 -)

(6) 教育・経営研究委員会の開催(研修事業部)

- 第1回 平成22年5月17日(月) 映画上映
 内容 「風の中で ~むしのいのち くさのいのち もののいのち~」
 の映画上映
 会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 15名
- 第2回 平成22年6月2日(火) 施設見学
 テーマ 保育・環境と寺田先生の想い
 講師 川和保育園園長 寺田信太郎
 玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授 大豆生田 啓友
 会場 川和保育園 参加者 26名
- 第3回 平成22年7月2日(金) 女性限定 座談会
 テーマ 女性の立場で見えてくる幼稚園を語ろう
 会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 7名
- 第4回 平成22年8月23日(月)24日(火) 施設見学(沖縄県)参加者 12名
 会場 よみたん自然学校・社会福祉法人みどり福祉会みどり保育園
 ・那覇市立高良幼稚園
- 第5回 平成22年9月23日(木)
 テーマ 「佐々木先生と一緒に山に行こう」 ~知らない自然がいっぱい~
 講師 プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋
 会場 箱根 参加者 14名
- 第6回 平成22年10月7日(木)
 テーマ スポーツを通して子ども・保護者を育てる
 講師 NPO法人IKO市原アカデミー理事長 池上 正
 会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 15名
- 第7回 平成22年11月30日(火)
 テーマ 子ども・子育て新システムの議論から見えてくること
 ~議論を受けて、何を大事にどうしていくべきなのか、
 一人ひとりが考えること~
 講師 玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授 大生大豆生田 啓友

こども指針（仮称）ワーキングチーム委員・全国こども園連絡協議会副会長
港北幼稚園・ゆうゆうのもり幼保園理事長 渡辺 英則

第 8 回 会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 22 名
平成 22 年 12 月 17 日（金）

テーマ 保育の質を高める ～学びの物語の保育実践から～

講師 福島大学人間発達文化学類教授 大宮 勇雄

第 9 回 会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 25 名
平成 23 年 1 月 25 日（火）

テーマ 「繋ぐ（つなぐ）～地域と、人と、そして次代へ」～

講師 横浜マリノス株式会社ホームタウンふれあい本部ふれあい課課長
望月 選

横浜マリノス株式会社ホームタウンふれあい本部ホームタウン事業課課長
佐々木 伸一

第 10 回 会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 14 名
平成 23 年 2 月 26 日（土）～27 日（日）宿泊研修

テーマ あそびについて ～あそびの世界、役割を社会にどう伝えるか～

講師 玉川大学准教授 若月芳浩

会場 箱根の森 おかだや 参加者 13 名

(7) 支部研究研修事業活動への助成（研修事業部）

平成 22 年度研究集録（支部研修報告）参照

(8) 地域父母組織活動強化事業（研修事業部）

- ・鶴見支部 年月日 平成 23 年 1 月 14 日（金）
会場 鶴見大学会館メインホール 参加者 301 名
テーマ 「心強く生き抜く子をそだてるには」
講師 家庭教育カウンセラー 内田 玲子
- ・神奈川支部 年月日 平成 22 年 11 月 15 日（月）
会場 かながわようちえん会館会議室 参加者 60 名
テーマ 「家庭教育と幼稚園教育のつながり」
～メディアが子どもに与える影響～
講師 関東学院大学人間環境学部人間発達学科教授 土屋 みち子
- ・西 支部 年月日 平成 22 年 11 月 25 日（木）
会場 横浜市立西前小学校・体育館 参加者 104 名
テーマ 「伝えよう 手の温もりを」 ～歌うよろこびを共に！～
講師 教育サークル「牧心塾」塾長元玉川大学講師
元湘北短期大学講師 小宮路 敏
- ・中 支部 年月日 平成 22 年 11 月 10 日（水）
会場 横浜人形の家「あかいくつ劇場」 参加者 75 名
テーマ 「聞く力・話す力」

- ～子どものコミュニケーション能力を高めるために必要なこと～
- 講 師 元 TVK アナウンサー・関東学院大学人間環境学部非常勤講師原 良枝
- ・南 支部 年月日 平成 22 年 11 月 9 日(火)
- 会 場 神奈川県食品衛生国民健康保険組合ホール 参加者 100 名
- テーマ 「今、幼児期の脳が危ない」
- ～テレビを見たりゲームをやったりすればするほど、
子どもの脳の成長が止まってしまうことを知っていますか?～
- 講 師 関東学院教育相談センター準備室教授 大賀 たえ子
- ・港南支部 年月日 平成 22 年 11 月 16 日(火)
- 会 場 港南公会堂 参加者 110 名
- テーマ 「子育ての中に活かす昔話」
- 講 師 筑波大学名誉教授・昔ばなし大学昔ばなし研究所主宰 小澤 俊夫
- ・保土ヶ谷支部 年月日 平成 22 年 11 月 26 日(金)
- 会 場 上星川幼稚園 講堂 参加者 203 名
- テーマ 「食育」 ～もったいないが食育の基本～
- 講 師 タレント・料理人 森野 熊八
- ・旭 支部 年月日 平成 22 年 11 月 16 日(火)
- 会 場 二俣川ライフ 5 階 サンハートホール 参加者 132 名
- テーマ 「子育てを楽しんでいますか」
- ～今日からできる子育てのヒントをお伝えします～
- 講 師 オフィスカワムラ代表 河村 都
- ・磯子支部 年月日 平成 23 年 1 月 25 日(火)
- 会 場 横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 参加者 127 名
- テーマ 「子どもの性・幼児期「なぜ?なぜ?攻撃」編」
- 講 師 子育てサークル「サンバの会」代表 渡邊 ケイ子
- ・金沢支部 (第 1 回) 年月日 平成 22 年 7 月 9 日(金)
- 会 場 京急幼稚園 遊戯室 参加者 25 名
- テーマ 「少林寺拳法を通して護身術を学びながら体と心のバランスをよく磨く方法」
- 講 師 少林寺拳法金沢文庫道院道院長安田 恒雄・少林寺拳法・皆川 宏初段
- (第 2 回) 年月日 平成 22 年 11 月 5 日(金)
- 会 場 京急幼稚園 ふれあい館 参加者 45 名
- テーマ 「喘息ってどんな病気?」 ～その原因から最新の治療まで～
- 講 師 横浜市立大学教授・横浜市立大学附属市民総合医療センター副院長
呼吸器センター部長・感染制御部長 金子 猛
- ・港北支部 年月日 平成 22 年 9 月 17 日(金)
- 会 場 港北公会堂 参加者 222 名
- テーマ 「子どもの力と自信を育てるには」 ～現代の子育ての難しさ～
- 講 師 関東学院大学人間環境学部人間発達学科教授 土屋 みち子
- ・緑 支部 年月日 平成 22 年 10 月 13 日(水)

- | | | | |
|-------|-----|--|-----------|
| | 会場 | あさひが丘幼稚園 ホール | 参加者 52 名 |
| | テーマ | 「絵本はすてきな友達」 ~ 「はじめてのおつかい」を編集して~ | |
| | 講師 | 絵本作家 柴田 晋吾 | |
| ・青葉支部 | 年月日 | 平成 22 年 11 月 25 日(木) | |
| | 会場 | 田園江田教会ホール参加者 120 名 | |
| | テーマ | 心ときほぐして
~ピアノ・ボーカルによる音楽と、子育ては頑張らない!とのお話~ | |
| | 講師 | 音楽家 木村 真紀 | |
| ・都筑支部 | 年月日 | 平成 22 年 11 月 9 日(火) | |
| | 会場 | 横浜市歴史博物館内 講堂 | 参加者 166 名 |
| | テーマ | 「夢のはなし」
~同じ夢を見る・元カレ・校舎・トイレ・追いかける
・歯が抜けるなど~ | |
| | 講師 | 白百合女子大学講師 ユング派セラピスト | 早乙女 紀代美 |
| ・戸塚支部 | 年月日 | 平成 22 年 6 月 29 日(火) | |
| | 会場 | 戸塚公会堂 | 参加者 200 名 |
| | テーマ | 「心をつなく 手合わせ遊び、わらべうた」 | |
| | 講師 | 東京家政大学教授 細田 淳子 | |
| ・栄 支部 | 年月日 | 平成 22 年 9 月 30 日(木) | |
| | 会場 | 栄 公会堂 | 参加者 250 名 |
| | テーマ | 「子どもの心の発達・子どもをめぐる環境」 | |
| | 講師 | 社会福祉研究所副所長 上原 文 | |
| ・泉 支部 | 年月日 | 平成 22 年 11 月 29 日(月) | |
| | 会場 | 泉区民文化センター テアトルフォンテ | 参加者 187 名 |
| | テーマ | 「ねずみくんの気持ち」 | |
| | 講師 | 絵本作家 なかえ よしを | |
| ・瀬谷支部 | 年月日 | 平成 22 年 11 月 4 日(木) | |
| | 会場 | 二俣川ライフ 5 階 サンハートホール | 参加者 130 名 |
| | テーマ | 「思春期は幼児期の子育てから」 | |
| | 講師 | 青少年育成コーディネーター 伊藤 幸弘 | |

(9) 横浜市幼稚園教育研究大会の開催(教育研究部)

日時 平成 23 年 1 月 22 日(土)

全体会 (講演)

テーマ 「ことばの力」

講師 小説家 重松 清

会場 神奈川県民ホール(大ホール) 参加者総数 2,696 名

分科会 (研究発表) 参加者総数 2,217 名

・第 1 分科会 特別研究委員会『1』(俯瞰図番号 E 6 - E 6 -)

- テ - マ 子どもの育ちを支える育内容の充実
 ~「絵本」の工夫で保育をもっと豊かに！~
- 助言者 玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授 大豆生田 啓友
 会場 神奈川産業振興センター 14F 多目的ホール 参加者 195 名
- ・第2分科会 特別研究委員会『2』 (俯瞰図番号 D2 - E7 -)
- テ - マ 子どもの育ちを支える「子ども理解と支援」
 ~遊びの中の学びを語り合おう~
- 助言者 青山学院大学教育人間科学部教育学科教授 小林 紀子
 会場 神奈川県民ホール6F大会議室 参加者 234 名
- ・第3分科会 特別研究委員会『3』 (俯瞰図番号 D3 - D3 -)
- テ - マ どの子にもうれしい保育の探究
 ~障害のある子どもや関わりの難しい子どものいる保育実践を考える~
- 助言者 國學院大學幼児教育専門学校主事 野本 茂夫
 会場 県民ホール(小ホール) 参加者 421 名
- ・第4分科会 西 支部 (俯瞰図番号 B1 - F2 -)
- テ - マ 共に育ち合う関係性を考える
 ~保護者と保育者の関わりを深め、子どもたちのためにできること~
- 助言講師 文教学院大学教授 平山 許江
 会場 横浜ワールドポーターズ(6FイベントホールB) 参加者 219 名
- ・第5分科会 港南支部 (俯瞰図番号 C3 -)
- テ - マ 子どもにとってのあそびを考える
 ~3歳児、4歳児、5歳児のあそびの現状をエピソード記述から読み取る~
- 助言講師 NPO法人 子育て子育て宝仙ネット理事 古川 伸子
 会場 ワークピア横浜 3F かもめ・やまゆり 参加者 245 名
- ・第6分科会 磯子支部 (俯瞰図番号 E4 - E7 -)
- テ - マ 遊びから見える子どもの姿 ~新聞遊び・こま遊び、鬼ごっこを通して~
- 助言講師 日本児童遊戯研究所所長 有木 昭久
 会場 ワークピア横浜 2F くじゃく・おしどり 参加者 343 名
- ・第7分科会 緑 支部 (俯瞰図番号 E4 -)
- テ - マ 幼児期に必要な不可欠な自然ふれあい体験
 ~五感プラス感性を最大限に発揮して~
- 助言講師 野遊びのプロ集団「ろぜっとわーくす」代表 中山 康夫
 会場 鶴見大学会館(メインホール) 参加者 192 名
- ・第8分科会 都筑支部 (俯瞰図番号 E6 - E6 -)
- テ - マ 「行って帰る物語を楽しむ」 ~昔話・語り・絵本~
- 助言講師 元東京都大田高等保育学院講師おはなしアンサンブル 石川 道子
 会場 鶴見大学会館(サブホール) 参加者 162 名
- ・第9分科会 戸塚支部 (俯瞰図番号 E5 - E6 -)
- テ - マ 子どもの表現を豊にするために ~ごっこ遊びを通して~
- 助言講師 元 玉川大学教授 岩崎 婉子

会 場 横浜ワールドポーターズ（6F イベントホール）参加者206名

(10) 教員研修会の開催（教育研究部）

第1回 平成22年5月26日（水）

第1分科会（俯瞰図番号 C1 - C3 - ）

テーマ 子どもをみる“まなざし”を問い直す
～子どもの多様な経験を支える保育とは～

講 師 田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授 高嶋 景子

会 場 港南公会堂（講堂） 参加者 390 名

第2分科会（俯瞰図番号 E5 - E6 - ）

テーマ 子どもの創造的な音楽活動を支えるために
～音楽ゲームを楽しむ～

講 師 日本女子大学家政学部児童学科教授 坪能 由紀子

会 場 鶴見公会堂（講堂） 参加者 310 名

第3分科会（俯瞰図番号 E4 - F6 - 1 ）

テーマ 子どもたちが豊かに育つ環境とは
～ある幼稚園の卒園間近の子どもたちの一ヶ月間の様子から～
上映作品 「風のなかで ～ むしのいのち くさのいのち ものいのち ～」

講 師 上映作品の監督 筒井 勝彦

会 場 西 公会堂（講堂） 参加者 471 名

第2回 平成22年10月27日（水）

第1分科会（俯瞰図番号 E7 - F4 - ）

テ - マ 子どもへのまなざし ～育てたように子は育つ～

講 師 相田みつを美術館館長 相田 一人

会 場 横浜市開港記念会館 参加者 422 名

第2分科会（俯瞰図番号 E5 - E6 - ）

テーマ いつでもどこでも誰とでも ～あそびうたオンパレード～

講 師 児童館職員・あそびうたシンガソングライター 三根 政信

会 場 横浜市教育会館 参加者 355 名

第3分科会（俯瞰図番号 C3 - D2 - ）

テ - マ 保育は子ども達のドラマ ～子どもはおもしろい、保育はおもしろい～

講 師 りんごの木代表 柴田 愛子

会 場 ヨコハマジャスト1号館（8階ホール） 参加者 243 名

(11) 研究講座の開催（教育研究部）

年月日 平成22年4月27日（火）（俯瞰図番号 D3 - D3 - ）

テーマ 「年度初めの保育で出会う課題への取り組み」

～障害のある子ども、関わり方の難しい子どもがいる保育など様々な問題を考える～

講 師 國學院大學幼児教育専門学校主事 野本 茂夫

会 場 かながわようちえん会館会議室 参加者 98 名

教員免許状更新講習対象（選択領域） 講習の名称：幼稚園教育内容を深める
年月日 平成 22 年 8 月 19 日（木）（俯瞰図番号 D2 - D3 - ）
テーマ 障害のある子どもを含む幼児理解と保育実践
講師 玉川大学教育学部教育学科准教授 若月 芳浩
会場 かながわようちえん会館会議室 受講者 38 名

(12)設置者研修会事業(経営管理部)

(1) 第 1 回

年月日 平成 22 年 6 月 24 日（30）午後 3 時～
テーマ 「幼稚園で発生した事故・紛争、法的にはどうなの？」
会場 かながわようちえん会館会議室
講師 横浜港和法律事務所弁護士 田中弘人
参加者 53 名

(2) 第 2 回

年月日 平成 22 年 9 月 15 日（水）午後 3 時 30 分～
テーマ 「新システムが目指す幼保一体化～こども園の姿と私立幼稚園の課題～」
会場 かながわようちえん会館会議室
講師 「遊育」編集長 吉田 正幸
参加者 91 名

(13)防犯研修会事業(経営管理部)

年月日 平成 22 年 10 月 27 日（水）午後 2 時 30 分～
テーマ 「子どもを犯罪から守る」
場所 かながわようちえん会館会議室
講師 神奈川県民部安全・安心まちづくり推進課防犯対策推進班
参加者 68 名

(14)労働保険等に関わる研修会の開催（労働保険事務組合）

第 1 回（経営管理部と協力して行った）

年月日 平成 22 年 6 月 30 日（木） 参加者 52 名
テーマ 「幼稚園で発生した事故・紛争、法的にどうなの？」
講師 横浜港和法律事務所 田中弘人
場所 かながわようちえん会館会議室

第 2 回

年月日 平成 22 年 11 月 17 日（水） 参加者 29 名
テーマ 「労災の範囲・労災申請用紙の書き方・給付の内容」
講師 横浜北労働基準監督署労災課次長 安食順子
場所 かながわようちえん会館会議室

第 3 回

年月日 平成 23 年 2 月 23 日（水） 参加者 46 名
テーマ 「労働契約について - 実例に即して - 」

講 師 (社)横浜市幼稚園協会労働保険事務組合顧問社会保険労務士 布施明夫
場 所 かながわようちえん会館会議室

(15)免許状更新講習の開催(教育研究部・研修事業部)

- ・必修領域(認定番号 平 22-81340-01391 号)(受講講者 12 名)
講習の名称:幼稚園をめぐる教育の最新事情
(保育力キャリアアップ研究講座 全日程 6月~12月)
- ・選択領域(認定番号 平 22-81340-63694 号)(受講講者 34 名)
講習の名称:保育現場での質を高める(カウンセリング研究講座 6月・9月・11月)
- ・選択領域(認定番号 平 22-81340-63695 号)(受講講者 36 名)
講習の名称:保育現場での質を高める(保育実践事例研究委員会 7月・9月)
- ・選択領域(認定番号 平 22-81340-63682 号)(受講講者 38 名)
講習の名称:幼稚園教育内容を深める(研究講座 8月)

2. 幼児教育を促進するための調査研究(定款第5条2号)

(1)子育て支援事業(総務部)

相談件数 45 件

相談内容内訳(複数カウント)

子どもについて(31 件)、保護者自身について(30 件)、情報提供・紹介(3 件)、
幼稚園について(16 件)、幼稚園からの相談(2 件)

(2)幼稚園実態調査事業(経営管理部)

5月1日現在、幼稚園の実態調査し各園に配付した。

11月6日現在、園児募集実態調査し各園に配布した。

(3)特別研究委員会の開催(教育研究部)

- ・特別研究委員会『1』(俯瞰図番号 E6 - E6 -) 計 9 回 参加者総数 502 名
テ - マ 子どもの育ちを支える保育内容の充実~「環境」の工夫で保育をもっと豊かに!~
講 師 玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授 大豆生田 啓友
- ・特別研究委員会『2』(俯瞰図番号 D2 - E7 -) 計 9 回 参加者総数 615 名
テ - マ 子どもの育ちを支える「子ども理解と支援」~遊びの中の学びを語り合おう~
講 師 青山学院大学教育人間科学部教授 小林 紀子
- ・特別研究委員会『3』(俯瞰図番号 D3 - D3 -) 計 9 回 参加者総数 654 名
テ - マ どの子にもうれしい保育の探究
~障害のある子どもや関わりの難しい子どものいる保育実践を考える~
助言者 國學院大學幼児教育専門学校主事 野本 茂夫

(4)保育実践事例研究委員会の開催(教育研究部)計 9 回 参加総数 192 名

- ・免許更新講習対象 選択領域 7月・9月 (免許状更新講習者 36 名)
講習の名称:保育現場での質を高める

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条3号）

4. 教職員の福利厚生（定款第5条4号）

(1) 園長・設置者表彰事業（総務部）

該当者なし

(2) 永年勤続表彰（幼稚園大会の開催）（総務部）

幼稚園大会において以下の教職員が表彰された。

40年勤続者	教員	0名	職員	2名
35年勤続者	教員	1名	職員	1名
30年勤続者	教員	5名	職員	1名
25年勤続者	教員	5名	職員	4名
20年勤続者	教員	14名	職員	2名
15年勤続者	教員	20名	職員	4名
10年勤続者	教員	67名	職員	12名
5年勤続者	教員	196名	職員	22名
計		356名	(教員	308名 職員 48名)

父母の会役員 5名

15年及び20年の教員に対しては更に、横浜市市長より表彰状が授与された

又創立50周年を記念して、この10年間に幼稚園協会の会長・副会長を務め協会の発展と幼児教育に尽力した7名の会長・副会長、この10年間に自園及び幼稚園協会に尽力された8名の父母の会会長、25年以上勤務し、幼児教育に尽力された永年勤続の19名の先生方に横浜市市長より感謝状が贈呈された。

(3) 雇用保険加入者へ向けての制度の通達（労働保険事務組合）

「雇用保険の被保険者となられた皆様へ」のパンフレットを新に雇用保険に加入された方の園に送付した。

(4) 労働保険事務処理を行うために必要な業務（労働保険事務組合）

- ・委託事業所の退職者、採用者、氏名変更等雇用保険に関わる手続きをおこなった。
- ・委託事業所の労働保険料の申告事務、及び徴収・納付をおこなった。
- ・神奈川県労働保険事務組合総合コンピューターシステムを活用し、事務処理の合理化に務めた。
- ・関係団体の研修会に参加し情報収集に務め、各園の指導、援助等を行った。

(5) 創立50周年記念事業（総務部）

50年に亘り幼児教育に携わる各園が一致団結し、幼児の健全育成のため鋭意努力した節目にあたり、当協会の今までの歩を振り返り、その中から学び取るものを確かめつつ今後の幼児教育並

びに協会活動のさらなる振興と充実を目指すため、創立 50 周年記念式典並びに祝賀会を開催した。

開催日時 平成 22 年 6 月 16 日(水)

会 場 ロイヤルホールヨコハマ ヴェルサイユの間

参加者 225 名

(6) 労働保険制度の啓発のための活動(労働保険事務組合)

全園に労働保険にかかわるパンフレットを送付し制度の通達をおこなった。

5. 公共団体及び関連諸団体との連絡提携(定款第 5 条 5 号)

(1) 意見交歓会の開催(総務部)

年月日 平成 23 年 1 月 24 日(月)

会 場 ヨコハマグランドコンチネンタルホテル

参加者 249 名(会員、父母、市長、国会議員、県・市議員、行政関係者、養成校)

(2) 関係機関・諸団体・協力事業への派遣事業(総務部・研修事業部)

第 50 回政令市指定都市私立幼稚園団体協議会大阪大会に参加した

平成 22 年 7 月 8 日(木)・9 日(金) 参加者 15 名

- ・ 第 30 回政令市指定都市私立幼稚園団体協議会京都協議会に参加した

平成 23 年 2 月 9 日(水)・10 日(木) 参加者 5 名

- ・ 第 8 回政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世代研修会新潟大会に参加した

平成 22 年 8 月 5 日(木)・6 日(金) 参加者 2 名

- ・ 第 18 回父母セミナーの開催

年月日 平成 22 年 11 月 19 日(金)

会 場 横浜市教育会館

テーマ 「子ども達の可能性をひろげよう」～親は子どもの味方・応援団～

講 師 白鷗大学教授 山本コウタロー

- ・ PTA 全国大会(渋谷 C.C レモンホール)へ参加した

平成 22 年 11 月 17 日(水) 参加者 79 名

- ・ 幼・保・小教育連携研修会 平成 22 年 7 月 28 日・29 日

- ・ 子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会事業に参加し、共同研究に協力した。(18 名)

- ・ 幼児教育研究事例集(明日へつなごう子どもの育ち 子どもの育ちと学びをつなぐ

～「協同的な経験や学び」を通して～)作成に委員として 3 園(荏田南幼稚園・しらかば幼稚園・やまゆり幼稚園)参加協力した。

- ・ 第 25 回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修千葉大会

平成 22 年 8 月 17 日・18 日 問題提起者(文庫幼稚園)

- ・ 文部科学省主催の幼稚園教育理解推進事業(中央協議会)に参加した。(4 名)

平成 22 年 12 月 14 日・15 日

- ・ 全日本私立幼稚園幼児教育機構 全国研究研修担当者会議に参加した。(2 名)

平成 23 年 1 月 20 日 21 日

(3)新規採用教員夏季研修会への協力事業（研修事業部）

- ・新規採用教員研修会 平成 22 年 5 月 19 日
- ・新規採用教員夏季研修会 平成 22 年 8 月 18 日・19 日

(4)幼稚園教諭養成校との連携事業（経営管理部）

下記の養成校を訪問し、学生の就職活動をサポートした。

訪問年月日

- 平成 22 年 6 月 7 日(月) 和泉短期大学
- 平成 22 年 6 月 8 日(火) 関東学院大学
- 平成 22 年 7 月 5 日(水) 横浜女子短期大学
- 平成 22 年 7 月 6 日(火) 洗足こども短期大学
- 平成 22 年 7 月 7 日(水) 聖ヶ丘教育福祉専門学校
- 平成 22 年 7 月 9 日(金) 聖セシリア女子短期大学
- 平成 22 年 7 月 13 日(火) 鶴見大学短期大学
- 平成 22 年 7 月 14 日(水) 鎌倉女子短期大学
- 平成 22 年 7 月 21 日(水) 湘北短期大学
- 平成 22 年 7 月 24 日(土) 國學院大學幼児教育専門学校

(5)私立幼稚園の振興対策の研究と推進にあたる（渉外部）

こども・子育て新システム検討会議の情報収集に努め、検討会のための資料作成に努めた。また、全園に預かり保育アンケート実施し、事業の推進に寄与した。

(6)幼稚園の振興に関する業務（渉外部）

横浜市こども青少年局と施策立案に向けた打ち合わせ会を 2 回開催した。

(7)渉外部会の開催（渉外部）

政策懇談会に向けて渉外部内の打ち合わせ会を 2 回実施した

6. 会報及び図書の刊行（定款第 5 条 6 号）

(1)ホームページ作成・管理運営事業（総務部）

ホームページの更新作業の実施(月 1 回)

絵本委員会の開催(月 1 回)

オープン講座の開催

年月日 平成 23 年 2 月 3 日(木)

会 場 かながわようちえん会館会議室

テーマ 「絵本とともに旅をして」

講 師 絵本作家 川端 誠

(2)就職手引書の作成事業（経営管理部）

1,600部印刷し、学生に配布した。

(3)研究集録の発刊（研修事業部）

諸活動の記録をまとめ、編集校正を行い、研究集録を発刊し各幼稚園及び関係諸団体に配付した。

(4)よこはまのこども 36号の発行（広報部）

「よこはまのこども 36号」の編集、校正を行い13,500部発行した。

(5)協会報「浜私幼」の発行（広報部）

No229号（園長・設置者版）平成22年5月15日 700部発行

- ・22・23年度新役員就任挨拶
- ・心の航海記

No230号（保護者版）平成22年6月20日 60,000部発行

- ・横浜市幼稚園協会会長メッセージ
- ・父母の会会長メッセージ
- ・就園奨励補助金額 ・コミュニケーションを育てる
- ・父母の会事業報告

No231号（教職員版）平成22年7月20日 5,500部発行

- ・横浜市幼稚園大会 ・協会創立50周年記念式典
- ・第1回教員研修会
- ・新規採用教員研修会 ・ようちえんぶーむぶーむ ・絵本の散歩道

No232号（園長・設置者版）平成22年9月25日 700部発行

- ・政令指定都市私立幼稚園団体協議会大阪大会
- ・第1回設置者研修会 ・教育経営研究委員会 施設訪問報告
- ・第2回設置者研修会

No233号（教職員版）平成22年11月20日 5,500部発行

- ・第2回教員研修会開催 ・防犯危機管理に対する研修会
- ・ようちえんぶーむぶーむ ・夏季研修会報告

No234号（保護者版）平成23年1月26日 60,000部発行

- ・第18回父母セミナー開催

No235号（教職員版）平成23年3月15日 5,500部発行

- ・横浜市幼稚園教育研究大会 神奈川県私立幼稚園教育研究横浜地区大会開催

No236号（園長・設置者版）平成23年3月20日 700部発行

- ・新年意見交歓会開催 ・定期総会
- ・第2回園長設置者研修会 ・政令市団体協議会
- ・表彰者紹介 ・公益法人化について ・市長訪問

(6)一般に向けた幼稚園教育の広報活動（広報部）

- ・「幼稚園のご案内」（三つ折りリーフレット）を20,000部発行し、各区役所、福祉保健センター等へ配布した。

- ・「幼稚園それはこどもが会うはじめての学校」(二つ折りリーフレット)を 50,000 部発行し配付を希望された園に送付した。
- ・神奈川新聞・暮らしのガイドに広告を掲載し、広く一般に幼児教育の重要性を知らしめ、幼稚園の啓蒙活動をおこなった。

(7)創立 50 周年記念誌を編集、発行(500 部)し、加盟園及び行政、諸団体・養成校等へ送付した。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第 5 条 7 号)

(1) 諸会議の開催 (総務部)

社団法人申請対策特別検討委員会を 3 回開催した。

(2) 諸会議の開催 (総務部)

定期総会 2 回、理事会 10 回、常任理事会 9 回開催

(3) 園児募集特別委員会の開催(総務部)

第 1 回 平成 22 年 7 月 5 日(月)

第 2 回 平成 22 年 12 月 8 日(水)

(4) 102 条園研修を県連合会と共催した。(総務部)

年月日 平成 22 年 11 月 25 日(水)

会場 かながわようちえん会館会議室

テーマ 「相続税・非課税規定の問題点と税の問題」

講師 北糞谷幼稚園設置者 滑川 良一

(5) 諸活動に必要な事務管理(研修事業部)

諸活動に必要な事務を円滑に行った

(6)園児募集のポスター作成事業(経営管理部)

1,400 部印刷し各園に送付した。

(7)教職員需給対策事業(経営管理部)

紹介開始 平成 22 年 10 月 13 日(水)より各園に紹介した

3 月末日までの状況は次のとおりとなった

求職者 351 名 (内訳新卒 322 名・経験者 29 名)

新卒者協会決定 30 名 経験者協会決定 4 名

(8) 監査事業(財務部)

第 1 回 平成 22 年 4 月 14 日(水)

第 2 回 平成 22 年 12 月 1 日(水) 支部助成金に対して

第 3 回 平成 23 年 3 月 7 日(月) 研究・研修補助金に対して

(9) 財務部会の開催（財務部）

財務部会を年4回開催した。

・ 庶務の概要

1. 役員に関する事項

平成23年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	現 職	備 考 *注
会 長	金子 禎	平成22年4月1日	ひまわり幼稚園園長	
副会長	森 慎互	同	ながつた幼稚園園長	
同	木元 茂	同	幸ヶ谷幼稚園副園長	
同	田野岡由紀子	同	山王台幼稚園園長	
常任理事	渡邊 眞一	同	初音丘幼稚園園長	
同	安西 透	同	平和幼稚園園長	
同	羽田 哲	同	銀嶺幼稚園副園長	
同	山崎 和子	同	杉之子幼稚園園長	
同	本田 俊章	同	つくの幼稚園副園長	
同	川戸 俊明	同	東俣野幼稚園園長	
同	石井 和則	同	原幼稚園園長	
同	渡邊 浩喜	同	かもめ幼稚園副園長	
同	小笠原 裕	同	平戸幼稚園園長	
同	三輪 恒嗣	同	横浜三輪幼稚園園長	
同	江津 秀子	同	八幡橋幼稚園園長	
同	岩谷 恭子	同	エクレス幼稚園園長	
同	渡邊 英則	同	港北幼稚園理事長	
同	亀井観一郎	同	寺尾第二幼稚園園長	
同	都築 朋子	同	戸部幼稚園園長	
同	霧見 紘	同	アソカ幼稚園園長	
同	吉本 道英	同	玉泉寺幼稚園園長	

同	木都老克彦	同	金井幼稚園園長	
同	佐藤 元巳	同	向原幼稚園園長	
同	橋木 勝彦	同	こすもす幼稚園園長	
同	小野 洋子	同	大谷学園幼稚園園長	
同	加瀬 容子	平成 23 年 4 月 1 日	竹山南幼稚園園長	
同	高橋 薫	平成 2 2 年 4 月 1 日	市ヶ尾幼稚園園長	
同	高良 敏子	同	江田南幼稚園園長	
同	吉原 繁男	同	戸塚ふたば幼稚園園長	
同	池上 紘	同	やまゆり幼稚園園長	
同	石川 義仁	同	いしかわ幼稚園園長	
同	梅澤 忠実	同	二ツ橋愛隣幼稚園園長	
理事	黒田眞喜子	同	三松幼稚園園長	
同	田中 昭夫	同	さゆり幼稚園副園長	
同	矢坂 千鶴	同	南聖心幼稚園園長	
同	和田 嘉明	同	柏幼稚園園長	
同	清水 満正	同	まきが原幼稚園副園長	
同	浅沼 郁子	同	汐見台中央幼稚園園長	
同	吉田 道子	同	大道幼稚園園長	
同	岩本 洋子	同	日吉台光幼稚園園長	
同	石崎えい子	同	アソメの聖母幼稚園園長	
同	石渡 博	同	美しの森幼稚園理事長	
同	小林由里子	同	梅が丘天使幼稚園園長	
同	吉原 久雄	同	池辺白ゆり幼稚園園長	
同	須藤伊佐夫	同	飯島東幼稚園園長	
同	効込 大	同	横浜さがみ幼稚園園長	
同	水越 美果	同	横浜隼人幼稚園園長	

2. 職員に関する事項

21 年度末現在

職	氏 名	就任年月日	担当事務	手当月額
事務局長	庄子 哲雄	平成14年 6月1日	総括・渉外・市補助事業	
事務局員	星野小枝子	昭和53年 4月1日	総務・財務・経営管理・ 就園奨励費補助事業・父 母の会事業	
事務局員	畝原 芳美	昭和62年 11月1日	労働保険事業・広報事業	
事務局員	中村奈穂子	平成2年 5月1日	研修事業・教育研究事業	

職員合計 4 人

3. 役員会などに関する事項

(1) 理事会に関する事項

ア 理事会

開催年月日	議決事項	開催当日における理事の現在数及び議決権を行使した理事の数並びに議事の結果
平成 22 年 4 月 16 日	平成 21 年度事業報告案及び決算報告案について 平成 22 年度補正予算案について 各部委嘱委員案について 平成 23 年度横浜市への予算要望案について 理事の変更案について	理事定数 47 名 出席理事 35 名 委任状 8 名 計 43 名 議事の結果 から まで全員異議なく了承可決 は継続審議、 全員異議なく了承可決
平成 22 年 5 月 7 日	平成 23 年度横浜市への予算要望案について 横浜市幼稚園大会について 協会 50 周年記念大会について	理事定数 47 名 出席理事数 40 名、委任状 4 名、計 44 名 議事の結果、 からは全員異議なく了承可決、

	横浜市幼稚園協会への新規加入について	
平成 22 年 6 月 1 日	神奈川新聞への広告掲載について 横浜市幼稚園大会について 協会 50 周年記念大会について	理事定数 47 名、 出席理事数 33 名、委任状 7 名 計 40 名 議事の結果から まで全員異議なく了承可決
平成 22 年 7 月 6 日	横浜市幼稚園大会の反省について 協会 50 周年記念式典等の実施状況について	理事定数 47 名 出席理事 39 名、委任状 4 名 計 43 名 議事の結果 から まで全て全員異議なく了承可決
平成 22 年 9 月 10 日	平成 22 年度第 2 回定期総会準備について 平成 22 年度教育研究大会全体会講師案について	理事定数 47 名 出席理事 34 名、委任状 8 名 計 42 名 議事の結果 から まで全員異議なく了承可決、
平成 22 年 11 月 5 日	平成 22 年度第 2 回定期総会準備について 役員改選スケジュール(案)について	理事定数 47 名 出席理事 36 名、委任状 5 名 計 41 名 議事の結果 から まで全員異議なく了承可決
平成 22 年 12 月 10 日	平成 23 年度事業計画案並びに予算案について	理事定数 47 名、 出席理事 33 名、委任状 9 名 計 42 名 議事の結果 全員異議なく了承可決
平成 23 年 1 月 18 日	平成 23 年度事業計画案並びに予算案について 平成 23 年度行事予定案について 平成 23 年度海外派遣研修実施案について 園児募集について	理事定数 47 名、 出席理事 34 名、委任状 10 名 計 44 名 議事の結果から まですべて全員異議なく了承可決、
平成 23 年 2 月 1 日	公益法人への申請について	理事定数 47 名、 出席理事 36 名、委任状 7 名 計 43 名 議事の結果異議なく了承可決
平成 23 年 3 月 4 日	平成 23 年度第 1 回定期総会準備について	理事定数 47 名、 出席理事 30 名、委任状 8 名 計 38 名

	横浜市幼稚園教育研究大会全体会の会場について 広報活動について	議事の結果 から まで全て全員異議なく了承可決
--	------------------------------------	-------------------------

イ 会員総会

開催年月日	議決事項	開催当日における社員の現在数及び議決権を行使した社員の数並びに議事の結果
平成 22 年 5 月 12 日	第 1 号議案平成 21 年度事業報告承認について 第 2 号議案平成 21 年度決算書承認について 第 3 号議案貸借対照表・財産目録承認について 第 4 号議案平成 22 年度補正予算承認について 第 5 号議案理事の交代について	社員の現在数 2 6 3 名 出席者数 5 4 名、委任状 108 名 計 162 名 議事の結果 第 1 号議案から第 5 号議案まで全て全員異議なく承認可決
平成 23 年 2 月 16 日	第 1 号議案平成 23 年度事業計画(案)承認について 第 2 号議案平成 23 年度予算(案)承認について 第 3 号議案に公益法人への申請について 第 4 号議案りじの交代について	社員の現在数 2 6 3 名 出席者数 5 7 名、委任状 9 7 名 計 15 4 名 議事の結果 第 1 号議案から第 4 号議案まで全て全員異議なく承認可決

ウ 評議員会

開催年月日	議決事項	開催当日における評議員の現在数及び議決権を行使した評議員の数並びに議事の結果

(3) 会員の異動状況

会員種類	前年度末現在 会員数 (A)	本年度 入会者数 (B)	本年度 退会者数 (C)	本年度末現在 会員数 (A)+(B)-(C)=(D)	増減()数 (A)-(D)
普通	263	1	1	263	0

*注 2 処務の概要の(1)役員に関する事項及び(2)評議員に関する事項(財団法人の場合)の表中現職欄については、「 会社社長」、「 研究所長」のように記入し、同表中備考欄には、現在就任している役職が重任である場合は、「最初の就任年月日 年 月 日」のように記入すること。

様式 5

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
有価証券所持なし
- (2) 固定資産の減価償却について
固定資産所有していない
- (3) 引当金の計上基準について
引当金なし
- (4) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収会費、未払金、前受金及び預かり金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載するとおりである。
- (5) 資金の範囲には、流動資産（現金預金、未収会費など）及び流動負債（預り金）を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記に記載するとおりである。

2 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現金預金				
未収会費				
合 計				
預かり金				
合 計				
合計(基本金)	200,000			200,000

3 (資産) 円(帳簿価格)は、長期借入金 円の担保に供している。

4 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金		
未収金		
合 計		
未払金		
合 計		
次期繰越収支差額		

5 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである（直接法により減価償却を行っている場合）。

科 目	取 得 価 格	減価償却累計額	当期末残高
建 物			
合 計			

6 保証債務

に対する保証債務は、 円である。（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く）。

7 資産及び負債の重要な科目別増加額及び減少額（第5の2のただし書きの方法を用いる場合及び正味財産増減計算書を省略する場合）。

科 目	金 額	
1 増加の部		
（1）資産増加額		
（2）負債減少額		
増加額合計		

2 減少の部		
(1) 負債減少額		
(2) 負債増加額		
減少額合計		
当期正味財産増加額(減少額)		